

## 第2 地域療育センター運営事業

地域療育センターは、横浜市が策定した「障害児地域総合通園施設構想」により設置された地域における療育の中核施設として、障害又はその疑いのある小学生までの児童とその家族が、地域の中で安心して生活できるよう、関係機関と連携しながら運営を行っています。

今年度も、これまでの地域療育センターの枠組みだけに捉われず、利用者や関係機関のニーズを的確に把握しながら、引き続き質の高いサービス提供を行い、利用者満足度の向上に努めました。

### <地域療育センター全体の重点項目>

#### ◇ 一次支援事業（初期支援）の機能充実

一次支援について、相談申込後、速やかにソーシャルワーカーや心理士、保育士による相談、ひろば事業等、ニーズに応じた支援を開始しました。また、ひろば事業では案内や内容を工夫したことで参加者数が増加しました。一方で、一次支援を初期オリエンテーション機能の一部として位置づけ、二次支援との円滑な連携につなげることが課題となっており、引き続きシステムの再構築を検討します。

#### ◇ 総合プランの提示

保護者が我が子をより客観的に理解することを目的として、一次支援での様子や家庭状況、地域の園での集団適応等を総合的に評価し、支援の方向性や根拠等をまとめた「総合プラン」を作成し、保護者と共有しました。また、令和7年度は各センターで主に年中・年長児を対象に総合評価を実施し、就学後の支援も見据えた継続的な支援につなげました。

| センター名                         | 主な担当区     |
|-------------------------------|-----------|
| 戸塚センター(児童発達支援事業所「ぴーす戸塚」を含む。)  | 戸塚・泉      |
| 北部センター(児童発達支援事業所「ぴーす中川」を含む。)  | 緑・都筑      |
| 西部センター(児童発達支援事業所「ぴーす鶴ヶ峰」を含む。) | 保土ヶ谷・旭・瀬谷 |
| 港南センター(児童発達支援事業所「ぴーす港南」を含む。)  | 港南・栄      |

### <各地域療育センターの重点事項>

◇ 戸塚センターでは、児童発達支援センターとして、通園・ぴーす利用児の保育所・幼稚園向けの療育参観や各種勉強会を継続して実施したほか、民間の児童発達支援事業所との情報交換会、療育見学等を実施し、連携強化に努めました。

◇ 北部センターでは、民間事業所が多い地域特性を踏まえ、入園前に児童発達支援の集団療育を体験できる初期療育「つぼみ」の充実に向けた取組を行いました。週3日、午前は2～3歳児グループ、午後は4～5歳児グループとして1日2グループ体制で実施し、登録人数が100人を超える利用ニーズに対応しました。

- ◇ **西部センター**では、令和 7 年 4 月から電子カルテの本格運用を開始し、センター内での検討や試行を重ねながら、安全で効率的なシステム運用に向けた取組を行いました。また、10 月から運用を開始した各地域療育センターにおいても円滑に導入できるよう、先行運用の経験を生かして運用マニュアルを共有するなど、導入支援を行いました。
- ◇ **港南センター**では、卒園後も切れ目のない支援を目指し、卒園児本人が参加できるプログラムとして、「スポーツあそび」「卒園児イベント」「お金のマナー講座」等をラポールと協働して実施しました。また、低学年児については、ぴーす職員への相談を積極的に案内し、タイムリーな保護者相談に応じるとともに、学齢児の相談に対応できるスタッフの育成に努めました。

## 1 相 談

- ◇ 一次支援におけるひろば事業や心理相談、保育士相談を、利用者のニーズに応じて実施しました。また、オンライン講座として「療育ワンポイント講座」の作成に向けた取組を行い、療育センターから離れた地域に住む利用者や就労世帯に対しても支援が届くよう努めました。
- ◇ 不登校児への支援については、地域で居場所づくりに関する取組を行う団体やセンター利用児の保護者を招くなど、ピアグループによる保護者支援を強化しました。また、民間事業者を講師とした職員研修を実施し、児童の個別性を尊重した支援について理解を深めるとともに、放課後等デイサービスや訪問看護等の地域の支援機関及び学校との連携に向けた取組を行いました。

(実績：全科利用申込数)

※( )内は昨年度

|        | 幼児    |         | 学 齢   |         | 全体数   |         |
|--------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
| 戸塚センター | 562 人 | (663 人) | 107 人 | (137 人) | 669 人 | (800 人) |
| 北部センター | 576 人 | (619 人) | 126 人 | (136 人) | 702 人 | (755 人) |
| 西部センター | 690 人 | (714 人) | 153 人 | (172 人) | 843 人 | (886 人) |
| 港南センター | 425 人 | (474 人) | 155 人 | (113 人) | 580 人 | (587 人) |

## 2 診療・訓練

- ◇ 0・1 歳児を対象とした初期療育プログラムや、運動障害を主とする肢体不自由児を対象としたグループ支援を実施し、集団療育と個別面談を組み合わせながら、継続的な支援に向けた取組を行いました。また、肢体系障害児に対しては、児童の状態に応じて各種グループを柔軟に活用し、ケースに応じた支援を提供しました。
- ◇ 幼児期診察においては、一次支援から二次支援への円滑な移行を図るため、各職種が連携しながら支援を行いました。

(実績)

※( )内は昨年度

| センター名  | 診察数     |           | 各種訓練数   |           | 外来集団療育数 |         |
|--------|---------|-----------|---------|-----------|---------|---------|
| 戸塚センター | 2,644 人 | (2,564 人) | 4,796 件 | (4,954 件) | 151 人   | (145 人) |
| 北部センター | 3,289 人 | (3,595 人) | 5,601 件 | (6,195 件) | 95 人    | (88 人)  |
| 西部センター | 3,000 人 | (3,045 人) | 6,217 件 | (6,159 件) | 109 人   | (109 人) |
| 港南センター | 2,542 人 | (2,423 人) | 5,072 件 | (4,730 件) | 166 人   | (159 人) |

### 3 集団療育

#### (1) 児童発達支援（戸塚：定員 60 人、北部・西部：定員 70 人、港南：定員 76 人）

- ◇ 合同プログラムや交流保育等を実施し、他クラスとの交流を取り入れた療育に関する取組を行いました。また、保護者の事前アンケートをもとに懇談を実施し、保護者同士が悩みや課題を共有できる機会を設けました。
- ◇ 保護者ニーズを踏まえ、保護者教室や就学準備講座等を通じて、保護者同士が交流できる機会づくりに向けた取組を行いました。また、就労している家庭への支援として、週 1 回や月 1 回の低頻度療育クラスを実施し、児童の課題に応じたクラス編成や支援を行いました。
- ◇ 一次支援の利用を通して、診療を待たずに通園利用につながるケースを受け入れるなど、円滑な支援導入に向けた取組を行いました。また、肢体系障害児に対しては、医療的ケアへの対応や各種グループを活用しながら、状態に応じた支援を行いました。

(実績)

※( )内は昨年度

| センター名  | 継続利用児       | 新規利用児       | 合計           |
|--------|-------------|-------------|--------------|
| 戸塚センター | 38 人 (60 人) | 32 人 (1 人)  | 70 人 (61 人)  |
| 北部センター | 56 人 (49 人) | 31 人 (41 人) | 87 人 (90 人)  |
| 西部センター | 46 人 (67 人) | 38 人 (37 人) | 84 人 (104 人) |
| 港南センター | 61 人 (56 人) | 31 人 (56 人) | 92 人 (112 人) |

(戸塚：日々定員 24 人、北部・西部：日々定員 12 人、

#### (2) 児童発達支援事業所「ぴーす」港南：1つの施設内で実施しているため、定員数が児童発達支援に含まれる)

- ◇ 事業団ぴーす全体で Zoom ウェビナーを活用した家族講座を継続実施しました。また、参加できなかった方に向けて録画をオンライン配信するなど、誰もが参加しやすい環境整備に努めました。

(実績)

※( )内は昨年度

| センター名      | 継続利用児       | 新規利用児       | 合計          |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 戸塚(ぴーす戸塚)  | 14 人 (47 人) | 77 人 (46 人) | 91 人 (93 人) |
| 北部(ぴーす中川)  | 17 人 (13 人) | 31 人 (36 人) | 48 人 (49 人) |
| 西部(ぴーす鶴ヶ峰) | 15 人 (25 人) | 33 人 (27 人) | 48 人 (52 人) |
| 港南(ぴーす港南)  | 22 人 (23 人) | 51 人 (48 人) | 73 人 (71 人) |

### 4 地域支援

- ◇ 保育所等のニーズに応じて、巡回訪問の時期や回数を柔軟に調整しながら支援を行いました。また、ホームページへ動画情報を掲載するなど、地域支援に関する情報発信に向けた取組を行いました。
- ◇ 卒園児フォローについて、電話相談等を定期的に実施し、継続的な支援につなげました。また、4～5 年生を対象とした合同講座を開催し、中学校生活をテーマとした講座を実施しました。
- ◇ 各部署と連携して、療育セミナーやオープンセンターを継続して開催し、関係機関との連携強化に向けた取組を行いました。また、児童発達支援事業所や放課後等

デイサービス等の民間事業所に対して、子どもへの対応や保護者支援に関する啓発や連携に向けた働きかけを行いました。

(実績：0歳4か月療育相談)

※( )内は昨年度

| センター名  | 回数        | 人数          | センターへの紹介数 |
|--------|-----------|-------------|-----------|
| 戸塚センター | 12回 (12回) | 88人 (101人)  | 5人 (7人)   |
| 北部センター | 7回 (6回)   | 57人 (69人)   | 7人 (12人)  |
| 西部センター | 12回 (12回) | 128人 (107人) | 7人 (5人)   |
| 港南センター | 12回 (12回) | 95人 (85人)   | 5人 (8人)   |

(実績：1歳6か月療育相談)

※( )内は昨年度

| センター名  | 回数      | 人数        | センターへの紹介数 |
|--------|---------|-----------|-----------|
| 戸塚センター | 3回 (5回) | 4人 (11人)  | 1人 (9人)   |
| 北部センター | 5回 (5回) | 12人 (9人)  | 5人 (8人)   |
| 西部センター | 4回 (4回) | 12人 (12人) | 5人 (5人)   |
| 港南センター | 4回 (4回) | 6人 (6人)   | 4人 (3人)   |

(実績：関係機関技術支援)

※( )内は昨年度

| センター名  | 機関数・延べ回数 |       |        |        |
|--------|----------|-------|--------|--------|
| 戸塚センター | 101か所    | ・139回 | (101か所 | ・150回) |
| 北部センター | 161か所    | ・267回 | (169か所 | ・265回) |
| 西部センター | 131か所    | ・232回 | (144か所 | ・233回) |
| 港南センター | 102か所    | ・160回 | (86か所  | ・120回) |

(実績：学校支援事業)

※( )内は昨年度

| センター名  | 学校数・延べ回数 |      |      |       |
|--------|----------|------|------|-------|
| 戸塚センター | 7校       | ・11回 | (10校 | ・15回) |
| 北部センター | 24校      | ・32回 | (15校 | ・34回) |
| 西部センター | 9校       | ・10回 | (8校  | ・9回)  |
| 港南センター | 8校       | ・10回 | (11校 | ・12回) |